

OSANAI MUSEKI CALLIGRAPHY  
SOLO EXHIBITION

# 小山内無石書個展

靜裏遊觀一賞小古硯自磨銅雀  
玉虫遍還鼻舞空窺嶺尖入壁  
圖書潤草色橫帷枕席關

開館25周年  
小川原脩記念美術館  
2024年4月20日(土)～7月7日(日)

2024年4月20日(土)～7月7日(日)  
小川原脩記念美術館第2展示室

開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週火曜日、5月13日(月)～17日(金)

観覧料／一般500(400)円、高校生300(200)円、小中学生100(50)円

(～内は10人以上の団体料金)

開館25周年

小川原脩記念美術館  
Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>

# 小山内無石 書個展

青森県出身で倶知安町在住の書家・小山内無石(むせき)は、岩手大学在学中より書をはじめ、書歴は60年におよびます。本来は国語教師でしたが、岩内高校在任時に芸術科目の書道を担当し、以降、本格的に書の道へと入りました。長年、岩内高校、次いで倶知安高校で教鞭を執り、多くの学生たちに書の楽しさ、奥深さを伝えると同時に、若者達の真剣な眼差しは、自身の書の研究へと繋がってきたと小山内は語ります。

小山内作品の魅力は、行草連綿体の漢詩大作から、墨の濃淡を生かした大字、また技法に趣向を凝らした独自の「ロウ書」、日常の風景に寄り添う近代詩を軽やかに書き上げた親しみ深い作品まで、その内容の豊かさにあります。小山内無石の自由闊達な書の世界をどうぞご覧ください。

## 小山内無石

OSANAIMUSEKI (1942 - )

- 1942(昭和17)年 青森県北津軽郡中里町(現・中泊町)生れ
- 1966(昭和41)年 岩手大学文学部卒業、岩内高校に着任
- 1974(昭和49)年 北海道書道展特選
- 1976(昭和51)年 第1回個展(岩内町)
- 1981(昭和56)年 全道書道展大賞受賞、同展審査会員
- 1984(昭和59)年 第3回個展(岩内町)
- 1985(昭和60)年 倶知安高校に着任、日本の書家百人展(パリ)選抜出品
- 1988(昭和63)年 日本の書家百人展(パリ)賞受賞
- 1990(平成2)年 第4回個展(倶知安町)
- 1998(平成11)年 第5回個展(倶知安町)
- 1999(平成12)年 全道書道展文部大臣奨励賞受賞
- 2003(平成15)年 倶知安高校にて定年退職、以降も同校で指導
- 2004(平成16)年 小山内無石書作展(倶知安町文化福祉センター)
- 2012(平成24)年 国際現代書道展 中華人民共和国日本大使館賞 受賞
- 2016(平成28)年 国際現代書道展 文部科学大臣賞受賞

鳴海要吉の歌



悶



尾崎放哉の句



情



李白の詩



李頎の詩



●同時開催

### 小川原脩展「感動の場 一点」

開催中～5月12日(日)

### 開館25周年記念・小川原脩展「遙かなるイメージ」

5月18日(土)～9月23日(月・振休)



Shu Ogawara  
小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1 (0136-21-4141)  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>

随物化

